



OBのつぶやき

円周率3.14…から見えてきたこと

鹿児島県PTA連合会 元副会長 海江田 宗順

私の幼い頃、 π （円周率）は3.14ではなく小数点以下が100桁まであった。もちろん無限に続いていくが友だち同士で競って100桁まで覚えたものだった。覚えるコツは語呂合わせだがそれを小学校の授業中に担任の先生が教えてくれた。

100桁まで知っていることに何の意味も無くわざわざ時間を割いてまで教科書に記載もないテストにも出ない内容を学習することは一瞬バカけているようだが、必ずしも無駄ではなかった。何故ならクラス全員が算数に興味を持ち楽しみながら授業に臨んでいけたからである。

明日のテストの点数なんかどうでもいい。5年先、10年先の結果に期待をかけて一人も漏らすことなく算数が嫌いな子を作りたくないという先生の覚悟でもあったと50年を経て今は感じている。

「教育は国家百年の大計」とはよ

くいつたのもで義務教育が9年としてその成果が出るのは子供が大人になってからの20年先とか国家の形成レベルでいうと50年100年先といった世代を渡る長期的視点で考えなければならぬ。今、大人が子供に何をしてあげられるのか何をしなければならぬのか大人の覚悟を問われているのである。さらに子供は大人に対して常に弱い立場にあることも忘れてはならない。



進路シリーズ28

『飛翔』～五色の風未来へつなぐ～

奄美高等学校



奄美高校は、創立から二〇五年の歴史があり、全日制5学科（機械電気科、商業科、情報処理科、家政科、衛生看護科）、定時制1学科（商業科）を有する奄美群島唯一の専門高校です。

本校では、地域に根ざした教育活動を企画、実践しており、昨年12月には、5学科が連携して郷土の魅力や日頃の学習の成果を披露する「奄美高校フェスタ」と商業科、情報処理科、家政科が中心とな

り、島内外の企業と協働で、奄美の魅力を観光客に伝える「奄美の魅力フルコース堪能プロジェクト（奄ふるプロジェクト）」を初開催しました。

また、女子バレーボール部や工業技術研究部、美術部が全国大会、商業倶楽部が九州大会に出場したり、郷土芸能部が数々のイベントに参加したりするなど、部活動も盛んです。



るとともに地域の課題解決に取り組む活動や地域の方々と関わる活

動をとおして生涯にわたり「故郷を想い、地域の発展に貢献できる人材」の育成を目指していきます。

（教頭 青柳 江美子）

（右上）奄美高校フェスタでの活動の様子／（右下）奄ふるプロジェクトでの接客の様子／（左）奄美高校生徒募集ポスター（逆風つちぬうだりょん？）